

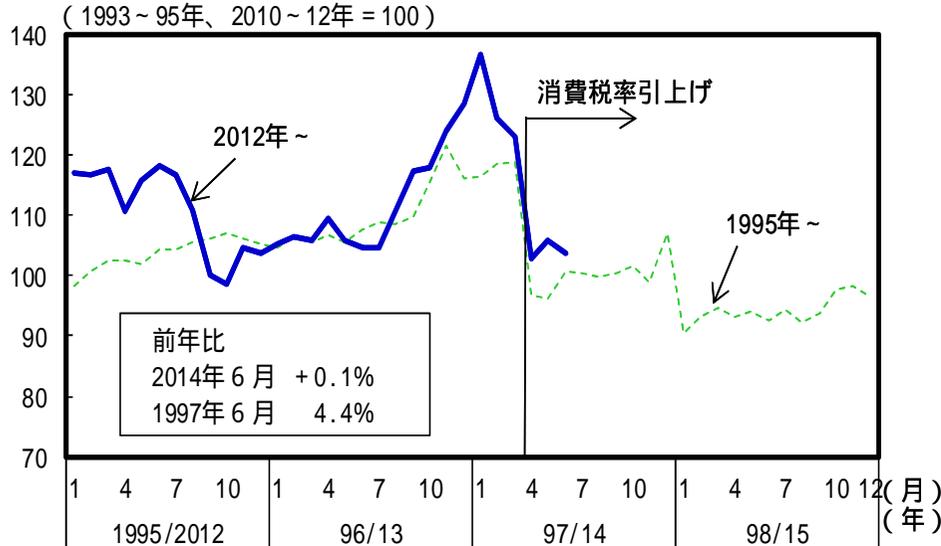
消費税率引上げ後の消費動向等 について（6月第4週）

平成26年7月4日
内閣府

自動車・家電販売の動向

自動車販売は、6月は前年比でほぼ変わらずとなった。また、受注台数の前年比マイナス幅は、足下で縮小の兆しをみせている、との声も聞かれる。

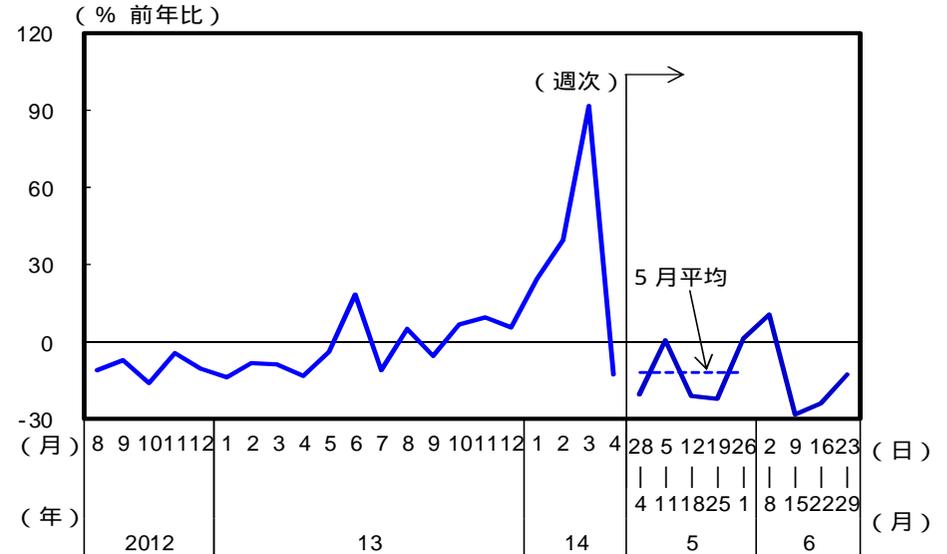
新車販売台数(含軽)(1997年頃との比較)



(備考) 1. 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会により作成。
2. 内閣府による季節調整値を指数化したもの。

主要5品目の家電販売は、6月第4週では、前年の売上が先週ほど好調ではなかったことなどから、前年比13%程度減と先週よりマイナス幅が縮小。天候の影響を除けば、反動減から持ち直しつつある、との声も聞かれた。

家電販売金額(家電量販店主要5品目)(税抜)



(備考) 1. GfKジャパン(全国の有力家電量販店販売実績を調査・集計)により内閣府作成。
2. テレビ、エアコン、冷蔵庫、パソコン、携帯電話の5品目の合計。税抜き価格ベース。

自動車販売台数(除軽、登録ベース)について、6月第4週は、引き続き弱い動きとなっている。6月の前年比は5月よりマイナス幅が縮小。ただし、前年の小型車が弱いことなどもあって、実勢として5月から改善しているとはみていない。 【業界団体A】

軽自動車販売台数(届出ベース)について、6月の前年比は5月よりプラス幅が縮小。ただし、前年6月に人気車種が出ていたこともあって、4~5月より大きく減速したとはみていない。 【業界団体B】

6月第4週は、前年の売上が先週ほど好調ではなかったため、前年比マイナス幅は縮小。全カテゴリーでも、前年比10%強と先週より改善。品目別では、サッカーW杯で日本代表が敗退したことなどを背景に、TVやレコーダーの売れ行きが不調だった。

【市場アナリスト】

6月第4週は、朝夕が過ごしやすく、エアコンなどの季節商品は芳しくなかったが、前年の売上が先週より不調だったこともあり、前年比マイナス幅は先週より縮小。天候を考慮すれば、反動減からほぼ持ち直している、と認識している。 【家電量販店】

